

健やかに生き、安らかな最期を

# Living Will

2021年  
10月発行

No. 183

リビング・ウイル

## 母の最期と 遺書動画

## 田村 淳さんが語る

ロンドンブーツ1号2号

## 倉本聰氏の緊急提言に想う

- 連載・電話・メール医療相談から
- 連載「四季の歌」里の秋



公益財団法人  
日本尊厳死協会

JAPAN SOCIETY FOR DYING WITH DIGNITY





「インタビュー」ロンドンブーツ1号2号

# 田村 淳さん

## 「母ちゃんの意味を

## 尊重するのが親孝行」

お笑いタレントで司会でも活躍する

ロンドンブーツの田村淳さん(47)が、

母・久仁子さん(享年72)に捧げた、

母との別れの物語『母ちゃんのフラフープ』。

「うちになにかあった場合、延命治療はせんでいいからね」との

本人の意思を、全身で受けとめ、旅立つ本人の希望を、

どう叶えていったのか。淳さんの半生を含め、

別離までの思い出、始めた遺書動画などの事業を熱く語ります。

インタビュー！ 構成／会報編集・郡司武

写真／水村孝

——本を読み終えて胸に迫るもの  
がありました。お母さんの最期の  
くだりももちろんですが、奥さん  
との出会い、お義父さんの対応の  
ところなども心に沁みますね。こ

の本は、尊厳死を選ばれたお母さ  
んの追悼本であると同時に、淳さ  
んの半生記でもありますね。  
さて、お母さんが72歳で亡く  
なられて1年になります。この1

年はどうでしたか。

**田村** 母ちゃんが死んでから喪失感  
はありましたけど、この本を書  
くことで、自分と母ちゃんが向き  
合う時間があったので、本を制作  
する過程が、喪失感を埋めていっ  
てくれたかな、と思っっています。

——お母さんの存在は、相当大き  
かったわけですか。

**田村** 生きてるときにはそんなに  
感じなかったんですが、亡くなっ  
てからのほうが、母ちゃんのこと  
を考える時間があり、自分という  
人間がこの母ちゃんに育てられた  
から今がある、こう考える自分が  
いる、みたいに思うようになりま  
したね。

——淳さんが、いわば畑違いのよ  
うな本を書き、それが売れていま  
すが、これまでどんな反響があり  
ましたか。

**田村** 普段から僕のことを支持し  
てくれている何人かからは、この  
本をきっかけに、親と死や最期の  
こと、葬式のことなどについて話  
すようになったと言われましたね。  
僕のことを支持してくれていない

方からは、「テレビで見てた淳は  
好きなタイプじゃなかったけど、  
本屋に積んであるので読んでみた  
ら、こういう人間なのか、こうい  
う母ちゃんに育てられたから今の  
淳があるのか。最近では応援して  
よ」みたいな声はけっこう届いて  
ますね。僕という人間は変わって  
いないんですけど、テレビの印象  
では違って見えていたのかもしれ  
ませんね。

「母ちゃんのがんが  
きっかけで遺書に関心」

——生まれ育った下関の彦島の  
「やんちゃ」な淳さんと、あまり  
変わっていないんですかね。

**田村** 根は変わっていないと思う  
んですが、テレビだと違うんでし  
ょうね。テレビは編集で短絡的に  
ストンと削られますが、本は行間  
をきちんと読んでいただけますか  
ら。本を作りながら、自分として  
も自分を本に投影できたかな、と  
思っています。

——ご自身で書かれたんですか、  
それともテープに吹き込んだりの

# 修士論文は母ちゃんに読んで欲しかったんですが、叶いませんでした

作業だったんですか。

**田村** テープに吹き込みました。何回かに分けて、相当話しましたね。

**編集者** ゲラになってからも、淳さんが相当、朱を入れての繰り返しをしながら制作しました。このニュアンスが違います、とか言われて……。

**田村** この本の最後にある、慶応大学の修士論文に関しては、僕が書いたんですよ。(笑い)

——それはそうですね。

**田村** 母ちゃんのがんがきっかけで、さらに娘が生まれたことがきっかけで、遺書に関心を持ち始め、遺書を研究したいと思って大学院に行ったというのが流れですね。修士論文は母ちゃんに読んで欲しかったんですが、叶いませんでした。母ちゃんは本が好きだったので、この本の最後に修士論文を加

えることで、完成したかなと思っています。

——本の最後にこう書いてあります。「ありがとう、母ちゃん。僕が、あなたのことを書いたこの本は、何点ですか。」と。お母さんは、何点くれるでしょうか。

**田村** 頑張りましたが、1000点はくれないと思います。僕の悪い部分はだいぶ削っているんで、母ちゃんは僕の悪童だった部分を知ってますから、「こんないいことばかりではないよ」と言うと思います。「あのこと書いてない、このことも書いてない。門限を破り続けたし」とか細かに言うと思いますね。そのあたりは書いてないので、1000点はくれないと思いますね。点数云々よりも、本になったことは喜んでくれていると思います。

——この本の中で最もハラハラす

**田村** まあ、そうですね。月々の生活を自立させよう、というような当たり前のことですよ。アルバイトにきちんと行けば給料がもらえるし、人との交流も生まれる。

「田村君の作るスパゲッティは〇〇さんより上手だね。うちの社員にならない？」とか声をかけられれば、生活自立の自信になりますよね。芸能界で活躍するという大きな目標にはほど遠いけど、その目標に向かっての準備がなされた18、19歳だと思っています。いま思うのは、ただもがいていても始まらないので、少しでも一歩でも

いいから前に進むということですかね。東京の人としゃべるのが苦手だったんですよ。

——えーっ。そうだったんですか。**田村** いけいけで東京に出てきて、その東京に呑まれていたんですね。それで東京の人に慣れようと思って、渋谷のスクランブル交差点で、「渋谷駅はどこですか」と、わかっているんだけど、声をかけたんです。一週間ずっと。そうすると、この人はちゃんと教えてくれる人かどうかわかるようになるし、話しかけるのが苦にならなくなってくる。足を止めさせる話しかけ方

るところは、淳さんが18歳で、下関の彦島から東京に出てきて、大東京に圧倒されて引きこもってしまうところですかね。どういふふうに立ち直っていくんだらうと。

**田村** 振り返って、僕もあの18歳のときが一番しんどかったな、と思います。当時は、自分がうつ状態にいたとか、苦しんでいたとかも客観視できない状態で東京にいたんですよ。

——どのようにして、うつ状態から脱出していったんですか。

**田村** 人との関りからですかね。ちっちゃな成功体験を積み重ねていったこと。大きな目標を持って東京に出てきたんですけど、目標が大きすぎて、どう一歩を踏み出

もわかってきますよね。初対面の人とどうコミュニケーションをとるか、ということも学んだ感じがしますね。

## 「葬儀場もその内容も自分で決めてました」

——お母さんの話に戻りますが、お母さんは淳さんが20歳の頃から「うちに何かあった場合、延命治療はせんぞね」と言われていたようですね。

**田村** 「あなたが20歳になって大人になったから、理解できるでしょ」と言っていて、「延命治療はせんぞね」と言いました。

——その時、お母さんは40歳代ですよ。看護師として終末期を多く見てきたからでしょうかね。

**田村** それはあったでしょうね。その時は、延命治療という言葉の理解はありましたけど、母ちゃんがどういう思いでそう言ったのかには、考えが及ばなかった。その20歳の頃から毎年、「延命治療はせんぞね」と言い聞かされてきました。6年前に母ちゃんにが

していいかわからない状況が続き、うつ状態になった。そんななかで小さい成功体験を積み重ねていった。それが自信につながり、一歩踏み出せる人間になっていったと自分では思っています。

——目標を手前に置いたということですか。

んが見つかり、その時はじめて、「延命治療」の意味というかその像が見えてきたような感じがしました。「延命治療はせんぞ!!」が母ちゃんの尊厳として前にぐっと出てきた感じがし、これを機に田村家で話し合いが始まりました。

——6年前のがんは手術をしたわけですよ。

**田村** 病院の先生と話したら、「これは積極的な治療で治るがんだから手術しましょう」と言われ、母ちゃんにも話し、納得して手術をして、がんを取り除きました。その2年後にがんが再発した時にまた、この「延命治療はせんぞ」が田村家の話し合いで浮上します。そして結論は、母ちゃんの思いを尊重し、母ちゃんらしく、母ちゃんの意識がはっきりした状態で最期を迎えさせてあげたい、ということになったんです。

——なるほど、そうでしたか。

**田村** 長い時間の言葉の積み重ね、ちゃんのことを叶えてあげよう、と父ちゃんと弟と自分の男3人が



たむら・あつし

1973年、山口県下関市彦島生まれ。お笑いタレント。司会者。会社経営者。1993年に田村亮と「ロンドンブーツ1号2号」を結成。バラエティ番組や経済・情報番組などレギュラー番組多数。2019年4月、慶応義塾大学大学院メディアデザイン科に入学。2020年8月から、遺書を動画にして、大切な人に想いを届ける「ITAKOTO」のサービスを開始。2021年3月、大学院を修了。妻と2女。



## 20歳の頃から毎年、『延命治療はせんでね』と 言い聞かされてきました

思い、家族みんなが納得する形に落ち着いたんです。母ちゃんの意思を尊重するのが親孝行なのかもしれないと思いました。家族といえども、一人ひとりが考える領域に踏み込めないこともあるんだと思います。

—— 最期のあり方に対するお母さんの美意識と、残される男三人があまり悩まないようにという、それは、お母さんのやさしさでもあったんじゃないでしょうか。

**田村** そうかもしれません。何より父ちゃんを一人残して旅立つことが心残りだったようです。それは亡くなる直前に、僕ら兄弟とうちの奥さん、弟の奥さんが個別に呼ばれて話したんですが、その時「父ちゃんのこと、よろしくね」と何度も言われたので、気がかりだったんだと思います。自分が死んだ後のことで父ちゃんに負担をかけたくないと、葬儀場もその内容も自分で決めてました。

亡くなって、母ちゃんへの思いは強くなったように思いますね。書斎に置いてある写真を毎日見て、

「こんなことあったよ」とか言ってますから。以前は時々電話で話すくらいでしたからね。

## 「送ってきたのが後ろ向きのフラフープ動画」

—— 淳さんは今、遺志を動画で残す「ITAKOTO」という事業を始めておられます。きっかけはお母さんですか。どんな事業ですか。

**田村** ITAKOTOとは、存在したという「いたこと」と東北半島・恐山の口寄せの「いたこと」を合わせた言葉です。きっかけは母ちゃんががんになって尊敬つて何だろうと思ったこと、その翌年に初めての娘が生まれたこと、僕がやってた番組で「いたこと」という死者を降臨させて会話させる人を見たことなどの要素がからみ合っています。いたことに関しては科学的な根拠は求めませんが、実際、

番組で目の前にいる人が死者と話し、心のつかえが取れたと涙し、前向きに生きていこうとするのを見て、遺書動画というものに興味を持ったんです。

—— そういうことでしたか。

**田村** それで実際、遺書を書いてみました。遺書は本来、自分じゃない人に書くんですが、書いてみて、「自分でこういうふうに生きたいんだ」「人生の最期はこうありたいんだ」と自分に返ってきているのを感じましたね。それでこのあたりをもう少し勉強してみたいと、慶応の大学院に入ったんです。

遺書は書面もいいんですが、動画として残したほうが、より気持ちが伝わるんじゃないかと思つて、それで動画を母ちゃんにお願いしたら、送ってきたのが、後ろ向きでフラフープをしている動画だったんです。それで、本のタ

リで無料でとれまして、次回の更新時から料金が発生するシステムです。

—— エンディングノートの映像化ですね。うちの協会は紙に意思を残しておくという活動をしてますが、紙と映像、どう思われますか。

**田村** 動画のほうที่伝わる部分と紙のほうが伝わる部分と、両方あると思いますね。自分が残したいもので残せばいいんじゃないですか。

イトルにもしました。

—— 意表を突く動画ですよ。本のタイトルはそういうことだったんですか。

**田村** そうなんです、内容とタイトルは直結しません。動画については、固定観念を打ち壊された。カメラ目線で伝えるのが「遺書動画」だと思っていましたから。日常の風景をそのまま伝えるのも「ありだな」と思いましたね。この1年、何度も動画を見ますが、情報量が多くて、「そうそう父ちゃんとの会話のテンションはこんな感じ」「実家の風景はこんな感じだったな」と、いろいろ蘇りますよ。故人を偲ぶのに適していると思いますね。

—— お母さんは、狙って送ってきた動画なんですかね。

**田村** 狙ってたっぽい感じですよ（笑）。本人には聞いてませんが、本を読んでもくれた人が、

本の最後にあるQRコードでフラフープ動画を見て、回り続けるフラフープもいつかは終わるといふことも暗示しているし、輪が回り続けることを田村家が継承していく、みたいなことを述べていましたね。

## 「出来れば紙と動画の2つあったほうが……」

—— 淳さんご自身は、動画を作成してらんですか。

## 後ろ向きでフラフープをしている動画は、狙ってたっぽい感じですよ（笑）



### 母ちゃんのフラフープ

ブックマン社  
定価：本体1400円＋税

三菱重工に勤める父と看護師の母の間に生まれた淳さんは、下関市彦島の社宅で、目立ちがりで「やんちゃ」な少年期を送る。高校を出ると芸能界を夢見て上京するが、大東京に圧倒されてうつ病に。そんな淳さんを支え続けた母は常々、夫や息子たちに「延命治療はせんで」と言い続けていた。

その母に2015年、肺がんが発覚する。この時は手術するが、2年後に再発した際には、「延命治療はしない」ことを家族が受け入れる。そして2020年8月、母は逝く。

淳さんの結婚に至るエピソードも織り込まれ、娘の取扱説明書（お取替え、ご返品はお受けできませんので、永遠に優しく、大切にお取り扱い下さい等）を郵送してきたお義父さんの話も心に響く。

### インタビューを終えて

長い間、芸能界で活躍している方だから当たり前ではあるけれど、自分の言葉をしっかりと持ち、一歩ずつ自分を前に進めているという印象でした。若い世代に影響力を持つインフルエンサーの一人とあっていいでしょう。ITAKOTOという遺書動画事業の成功を願っています。

会報編集・郡司武

# しなやかに生き直す力を!!

新型コロナウイルス感染症がWHOによってパンデミックと認定されてから1年半が経過しました。その間、ウイルスの研究や予防、戦い方について経験を重ね知見を積み、ワクチン接種が広まり、治療薬の開発も進んできました。収束にはほど遠いのが現状です。コロナによって、これまで常識と考えられていた「誰でも受けられる」医療体制が揺らぎ、延命措置どころか救命措置すら受けられないという日本尊厳死協会創立以来、初めてのパラダイムシフトが起こりました。私たちは、パンデミックによって、命の危機における意思決定のあり方を問われることとなり、予めリビング・ウィルを書いておくことの重要性が、いま改めてクローズアップされてきています。

日本尊厳死協会は、この2年間に11回にわたり、協会のあり方、目指すべき方向性、リビング・ウィルの内容について検討委員会を立ち上げ、外部の哲学者や社会学者、医療関係者、弁護士等を招き討論を行ってきました。そ

の中で、尊厳死は単なる延命措置の拒否や十分な緩和ケアを行った末の死ではなく、それまでの尊厳ある生の先にあるものという考え方が確認されました。

では尊厳ある生とはいかなる生なのか？生きている以上、死別や離別、病氣、貧困、孤独、差別、認められない、愛されないなど、心が折れることは多くあります。地震や津波、洪水など天災に見舞われることもあるでしょう。そうした中で、自己肯定感を持ち自尊心が保たれている人と、不幸にもそうでない人がいます。如何にすれば、起きてしまった過酷な出来事から立ち直る心のしなやかさ、つまりレジリエンスを育成できるでしょうか。

人生は予期せぬ出来事の連続です。自分や家族の最期はなかなか思い通りにはいきません。今回は、この自分にとって良くない予期せぬ出来事からの「レジリエンス」「絶望から生き直す力」に焦点を絞り、議論して行きたいと思

## 第10回 日本リビングウィル研究会

テーマ **レジリエンス**  
＝パンデミックから立ち直る力

日時 **2021年12月11日(土) 午後1時～4時**

開催方法 **オンライン会議(非公開)**。 会議の内容を会報とHPに掲載予定

講師(予定) シャボット・あかね(オランダ発ポジティブヘルスの著者、安楽死問題の研究者)  
松田 純(静岡大学名誉教授、哲学者。「安楽死・尊厳死の現在-最終段階の医療と自己決定」の著者)  
高宮有介(昭和大学医学部教授、日本死の臨床研究会世話人代表)  
平林池保子(看護師、日本尊厳死協会医療相談員)

コーディネーター 満岡 聰(満岡内科クリニック院長、日本尊厳死協会理事)

開催に関する最新情報は <https://www.songenshi-kyokai.oj.jp/> 協会ホームページでご確認ください。

## LW改定委員会の経過報告

# 新しい時代に対応したLWに見直す

会員数の減少を受け、次の新しい時代に対応したLW、定款、体制に変えていく必要があるのではないか。

次世代を担う理事、支部長らを中心にスタートしたLW改定委員会の議論の経過を報告します。

日本尊厳死協会は「終末期における意思の表明」という概念を広く浸透させるべく活動を行っており、その活動は、ある程度、実を結びつつありますが、来年度50周年を迎え、50周年を控えて、次の新たな半世紀に向けて準備に入らなければなりません。

では、現在のLW、定款、さらに協会の体制はこれでいいのか、新しい時代に対応したものになっているのか、変える必要があるのではないか——。そうした問題意識から、LW改定委員会を発足させました。会議はオンライン形式で、第1回が6月24日、その後2〜3週に1回開催し、10月末には全8回を終える予定です。比較的

若い理事や各支部長を中心に、外部の専門家の意見も参考に議論し、年内にはまとめに入り、2022年から新しいLW、定款、体制をスタートさせる予定です。

### 「延命を希望する」項目も入れたら…

第1回の委員会では、「12万人ほどだった会員が次第に減少に転じ、現在10万人を切っている」現状に対し、会員増などの期待も見えず、「いわゆる延命措置をしないという従来の選択に加えて『医学的妥当性に基づいて生命維持に必要な最大限、必要な医療措置を行ってください』という『延命措置』の選択肢も加えてはどうか。

これが今回の委員会の大きなポイントではないか」との、提案が出されました。

これに対し、各理事、支部長などから意見が続出。「協会は『延命を希望しない人が集まっている』というイメージがあるので、『延命したい』という人を今後入れていくことには疑問を感じる」というが、そういう人はそもそも協会には入会しない」「過剰な医療措置で延命されたくないから入会するわけで、『延命を希望する』なんて項目を入れたら何が何だかわからない会になってしまうのではないか」。こうした意見に対し、「基本理念は変わっていないけれど、『延命措置を希望する人』も排除しない団体として幅を広げていこうということ。会員区分として賛助会員なども想定し、会員減などの現況を打破し、門戸を広げていきたい」などの反論もあり、

議論は熱を帯びました。

### 運転免許証のようなカードに

第2回では、LWの形式についての議論もなされました。今後入会する会員には、運転免許証や臓器移植カードのようなプラスチックの小さなカードにし、カード内自分のLWが書いてあるようにするというもの。カードには簡便に記載し、「私の希望表明書」や必須記入項目、用語解説などは紙の形で所持することで、すべてを含めて「LW」とする考えが示されました。

第3回まで「LW」について、4回から6回までが、いわば憲法といってもいい「定款」について。「皆さんの意見を反映させながら、公益法人に相応しい定款に変えていきたい」と岩尾總一郎理事長が決意を語りました。最後の2回は「体制や事業戦略・戦術」になります。新しい時代に向けてのLWの形、体制の模索が始まっています。

# LWのひろば

## 父の無念を想う

木内豊秋 72歳 神奈川県

平成10年に78歳で亡くなった父の終末期医療に対する疑問から投稿いたします。

父の青春は戦争に明け暮れた日々でした。昭和15年に入隊するとすぐに満州を皮切りに台湾、フィリピン、シンガポールと外地で6年余り戦い、終戦となりましたが、南方の小島に幽閉され、ボツダム宣言から10か月間の捕虜生活を送り、帰国するも、父母も長兄もすでにこの世にいないことを知りました。父は晩年、命はかけがえない宝物、という言葉を口にしておりました。満州で零下40度の野営で耳が凍傷となり、上官のビンタで片目の視力を失くすなどしています。

戦後の高度成長期には、身を粉

えてきた父には、人生の終末は、苦しみのない平穏な日々であってほしいと切に思っています。

## 自死についての持論

瀧口明宏 81歳 大阪府

貴協会に入会していた兄がタクシーで病院に向かう途中、コロリと亡くなりました。それを機に、私も80歳を過ぎたこともあり入会しました。ただ私には「自死」についての持論がありますので申し述べたいと思います。

自死は自殺とは違うと思います。80歳以上の高齢者になって、自分で身の回りのことが出来なくなると、死を望む場合が出てきます。睡眠中の安楽なコロリです。この死に方が自死だと思えます。しかし今、日本では、安楽死は認められていません。自分の人生の終焉ぐらいいは、自分の意思通りに安楽にコロリと死にたいと、私は願います。そう考えるのは、思考を持つ人間だからではないでしょうか。

今の日本では、高齢になり思考力も判断力もない状態で延命措置がとられ、寝たきりで死を待つ人が多

## 短歌1首に託して

織田健治 78歳 石川県

夫婦二人で暮らす老境の心境を短歌にしました。

植物の如く  
死んでいくのは 嫌ですと  
二人で語る リビング・ウイイル

## 遥かに遠い「希望通り」

高原万里子 70歳 宮城県

尊厳死協会に入会したからといって、決して過剰な延命措置から逃れる切り札にはなりえないだろうと予測はしています。現在の医療制度を改変しないかぎり、「死なせまいとする」無駄で苦しい措置は、なくなることはないと思うからです。医療機関にとって、最も楽に稼げる手段が、じつは「息をさせ続ける」ものもろであるからです。

胃ろうで10年も生きて「しまっつ」高齢者。病院にとっても、施設にとっても、動かす文句も言わず手の届かない、そしてお金を稼いでくれる有難い患者さまさまなのです。

自分の希望通りに息を引き取る道は、なんと遥かで遠いことでしょうか。

くいます。尊厳死協会の活動のように、思考力が健全でしっかりしている時に死に方について意思表示をし、あとはその意思にしたがって人間の尊厳を保ったまま死を迎える——これも重要なことでしょうか、私は思います。若い時には思い通りに行動することができても、高齢になり身体が思い通りに動かなくなつた時には、睡眠中に安らかに死なせてもらいたい、と。自死を人間の基本的な人権として、一般に認知され、法で許すべき時が来ることを願っています。

## 望んでいた通りの最期

茶幡昌子 78歳 大阪府

私たち夫婦は9年前、キリスト教の教会に置いてあった尊厳死協会のチラシを見て、すぐに入会しました。それ以来、いつも保険証と一緒に持ち歩き、家族（子どもたち）にもよく伝えていました。

3歳上の夫は、7、8年前から軽い認知症になり、3、4年前からは歩行が困難となり、言葉もほとんど出なくなりました。今年1月に亡くなるまで、自宅で私が介護をしまし

### お力をお貸しください!

会員の方々から「ひろば」への投稿やメールで、当協会の「PR不足が残念」といった声が届いています。「声かけに協力します」と申し出てくださいる方もあります。協会では入会勧誘のチラシ（写真）を用意しておりますので、送り先と枚数を協会本部までお知らせいただければ、すぐにお送りいたします。会員のみなさまのお力をお貸しください。



### 編集部より

- 投稿の募集 テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの日々」など何でもけっこうです。600字以内で。掲載(写真含む)の方には図書カードを差し上げます。手紙またはファクス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.or.jp)で。
- 写真の募集 1月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送してください。いずれも、協会本部報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは11月15日です。

※ホームページにも掲載させていただきますので、ご了承ください。



たが、デイサービスの方、看護師さん、もちろん脳神経内科の主治医のドクターにも、尊厳死協会の会員であることを告げていました。今年になって急に食べられなくなり、訪問診療のドクターに尊厳死のことをお願い

しました。よく心得てくださり、よきアドバイスをいただき、1週間ほどで、本人が望んでいた通りに、自宅で安らかに召天いたしました。協会の会員であったことに心から感謝しています。

## 理解あるLW協力医師を増やして！

「尊厳死とは何か」を改めて問うた、脚本家・倉本聰さんの緊急提言「そしてコージは死んだ」は、会員の大きな反響を呼びました。「涙とともに読んだ」「亡き夫の最期を思い出した」「この文章を多くの人に読んでほしい」「コージさんが切ない」……。寄せられた投稿の中から一部を掲載し、当協会の今後の進め方も示します。

## この一文をより多くの人に

大塚伸雅 81歳 奈良県

倉本氏の「そしてコージは死んだ」の一文に深い感銘を受け、私の希望を申し述べます。私はかねがね、「人の命は地球より重い」とか「助かる命は何がなんでも助けねばならない」という一般的な日本人の考えに疑問を抱いていましたが、倉本氏の「医学という一つの学問の中の思考のあやまり、いわば哲学の欠如」という見方にわが意を得た思いです。

私の友人の父君は、民間の介護付き老人ホームに入居していました

ては安楽死は支持しない」と述べていますが、尊厳死と安楽死はどう違うのでしょうか。要は、本人の意識が正常な時に「延命治療はするな」しかし「過度の痛みや苦しみを緩和する麻薬療法はして」との明確な意思表示を残し、それに従って処置をした医師が罰せられないように法整備をしておけばいいのではないですか。尊厳死と言えば、高潔な人格の人が対象というニュアンスがありますが、ほとんどの人は、そんな立派な死よりも「最後は安らかに逝きたい」という安楽死を望んでいます。

万人に説得力のある今回の倉本氏の一文を、貴会の啓蒙活動に利用させていただくというのはいかがでしょうか。知名度の高い倉本氏のこの生々しい一文は、多くの反響と共感と呼ぶのではと考えます。

## 夫の最期を重ねて涙す

小林佐喜子 90歳 福岡県

「そしてコージは死んだ」を2回

てください。お役に立ちたいと思っています。

## もやが晴れた思い

富登千恵子 89歳 徳島県

コージさんに身を置き換えて読みました。尊厳死協会に入会しているからといって安心できないし、安全でないことに気がきました。すっきりしないもやが晴れた思いです。私は平成5年に入会しています

が、当時から会員の増減はあまりないようです。入る出る、は自然の摂理です。思うのは、日本の医師の何割かがこの会を支えてくれていたら、コージさんは苦しまずに昇天できただろう、ということ。名もない田舎のばあさんの終焉を想像してみます。今までは、尊厳死の会員証を見せたら、苦しまずに死ねるんだと安易に思っていました。それはそうとも言えないと気がつきました。自分で道をつけなくては。

これまで私は、目や膝、甲状腺がん、骨折などの手術を受けました。そのつど会員証を提示しましたが、医師は目を通したに過ぎなかったように思います。名のある方が役員や

## 協力医師を増やします

尊厳死協会としては、前号(182号)でも触れたように、リビング・ウィルを持ちそれを医療者側に伝えるという可能な限りの準備をしても、受け取る側に理解がなければ患者は安心して最期を迎えることができない、との基本的な観点から、協会の理念を理解し対応できる「LW受容協力医師」を増やしていくことを最優先します。また満岡理事も指摘しているように、リビング・ウィルの普及を図ることに同時に緩和ケアの普及も図っていかねばなりません。協会は、そうしたことを再確認し、より会員に寄り添った公益法人として進んでいきます。

倉本氏の緊急提言を、嗚咽をこらえて拝読し、どうしても提言せざるを得なかった思いを重く受けとめました。この文章を多くの人に読んでほしい、現実を知ってほしい、と強く思いました。貴会理事長の言われる「運次第の現状を変えたい」と、私も思います。運次第では、あまりにも不平等ではないでしょうか。苦しんでまで生命を長らえたくはないとの思いで、当協会に入会しました。この号を、「ひろば」なども含めてよくよく目を通しますと、入会しただけでは安心できないことがよくわかりました。この年齢になりますと、友人知人との会話は、来し方、最後のあり方の話題が多くなります。「私はこういう会に入っているのよ。カードをいつも持っているのよ。自分の意思は伝えられるので安心」みたいなことを話していましたので、「それだけではダメなのだ」と、少し訂正しなければなりません。とにかく尊厳死協会のことを知らない人が多いです。周りに少しでも知らせたいので、勧誘チラシを送っ

## 嗚咽をこらえて拝読

梅川照子 82歳 神奈川県

が、一昨年、肺気腫が悪化してホームと提携関係の開業医の治療を受けました。父君はかねがね友人兄弟に「絶対に延命治療はするな」と厳しく言っていました。医師が「人工呼吸器をつければ2〜3週間で回復する」と伝えたので、友人兄弟は同意しました。ところが病状は改善せず、最後の2か月は、死ぬより酷い苦しみにのたうちまわったとのこと。その間父君は「あれほど頼んだのになぜ延命措置をしたのか」と兄弟を責め、最後には「殺してくれ」と懇願したそうです。貴会はこれまで「尊厳死協会とし

季節を感じさせる1枚の写真と  
懐かしい唱歌でつづるページです

# 四季の歌

——その風景と背景

第十八回

## 里の秋

斎藤信夫 作詞  
海沼 實 作曲



しずかなしずかな 里さとの秋あき  
お背戸せどに 木の実の落ちる夜は  
ああ かあさんとただ二人  
栗の実煮にてます いろいろばた

明るい明るい 星の空  
鳴き鳴き 夜鴨よかもの渡る夜は  
ああ とうさんのあの笑顔  
栗の実 食べてはおもいだす

さよならさよなら 椰子やしの島  
お船に揺られて 帰られる  
ああとうさんよ 御無事でと  
今夜も かあさんと 祈ります

(1945年12月 NHKラジオで発表)

2003年に「好きな童謡」で第10位に選ばれ、2007年には「日本の歌百選」にも選ばれた、日本の秋を歌った代表的な童謡。作詞の斎藤信夫(1911~1987年)は千葉県山武市の出身。終戦の年の12月、作曲の海沼實(1909~1971年)から電報が届き訪ねると、以前送った戦意高揚の童謡「星月夜」を示され、1、2番以外の作り直しを告げられる。戦地の父を励ます3番を、復員兵の歓迎と慰労を内容とする「新3番」に書き直し、「里の秋」と改題して、12月24日のNHKラジオ番組「外地引揚同胞激励の午後」で初めて放送された。歌ったのは当時小学5年生の川田正子。かわいらしい声に乗って「里の秋」は全国に流れ、大きな反響を呼んだ。

「お背戸」とは裏口のこと。家の裏手の庭に木の実がポトンと落ちる音だけがする静かな夜、囲炉裏で栗を煮ながら父さんを思う母と子……。素朴な日本の田舎の風景が、温かく静かに立ちのぼる。

東北支部

☎ 022-217-0081 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.or.jp

第25回 東北支部仙台大会  
支部ホームページで  
川島隆太教授がWeb講演

テーマ「認知症は、予防・改善できる!？」

講師◎川島隆太(東北大学加齢医学研究所所長)

“脳トレ”でも著名な川島隆太教授の、最先端の研究と知見による「認知症」の最新情報。誰もがなるかもしれない「認知症」。川島隆太教授の講演で、あなたの不安や心配がパット晴れるかもしれません。まずは「認知症」を正しく知る、願ってもない機会です。



公開予定期間◎11月初旬(予定)から1ヵ月限定  
公開ホームページ◎  
東北支部のホームページ(検索は尊厳死協会東北支部)  
<https://songenshi-kyokai.or.jp/tohoku/archives/category/event>

第40回「リビング・ウイル  
交流サロン 支部長との  
電話出前 交流・相談会」

日程◎ 10月29日(金)午後2時～3時半(予定)

流れ◎ 10月22日(金)までに東北支部宛に「交流サロンの件」と連絡。

ご自身の電話番号かメールアドレス、「相談内容の骨子」をお知らせください。宛先のアドレスはtohoku@songenshi-kyokai.or.jp。

10月29日に支部長が電話を差し上げる予定時刻をお知らせします。29日には、こちらからおかけする電話で、ご相談の質問にお答えします(原則15分以内)。

参加費は無料。なお正確を期するため、通話内容を録音しますのでご了承ください。

支部ホームページの新企画。

① 新連載。東北支部リレーエッセイ「LW(リビング・ウイル)のチカラ」の第1回は、福島県猪苗代町で「在宅医療」に取り組む今田かおる支部理事の登場です。日々の活動の様子が、外国人監督により「ドキュメンタリー映画」となり、各種の映画祭で賞を獲得。そこで取り上げられた地域での活動などが、文章と写真で生き生きと紹介されています。

② 7月16日(金)に実施した「電話によるリビング・ウイル交流サロン」での会員のお声を紹介。直接うかがったご意見やご要望とその返事や回答を掲載します。

東北支部 活動報告

初企画! 電話による  
「リビング・ウイル交流サロン」

新型コロナウイルス感染の心配がない「リビング・ウイル交流サロン」ができないのか?しかも、インターネットやEメールなどを使わずに、どなたでも参加できる方法?

こうして生まれたのが、2021年7月16日(金)の午後2時から4時にかけて実施した、全国で初めての“支部長との、電話によるリビング・ウイル交流サロン”です。

支部長が、予約した時間に直接電話を差し上げる、文字通り個別の意見交換と相談です。宮城県8人、岩手県1人、秋田県1人の計10人の会員と、それぞれ15分ほど、親身に話し合うことができました。

「会報182号」の「倉本聰氏の緊急提言」記事への感想や意見があり、「リビング・ウイルは、役に立たないのか」の疑問が出されました。一方では、「気の毒な例であるが、たまたまだったのではないか」や「会員側の対応で、違った最期を迎えられた気がする」。このような比較的冷静なご意見もありました。このことに関し、亡くなられた会員のご遺族へのアンケートでは、94%の方から患者の意思が尊重されたとの調査結果を説明。もちろん、そのことで満足することなく、現状打開の努力をすることもお話ししました。「かつて、心無い医師の言葉で傷ついたことを思い出した」との感想には、いまの医療界が昔とは様変わりしつつある現状もお知らせしました。医学教育では患者の意思の尊重が医師国家試験にも出題されるほどです。

その他、「地域の受容協力医師を知りたい」との要望も寄せられました。個別に親身に話し合えたためでしょうか。「地域の町内会などに、当協会の出前講座や講演会を開催できないか相談してみる」、「行政機関とリビング・ウイルや終末期の在り方に関し協力してセミナーなどを展開する可能性もあるのでは」、「研究熱心な葬祭事業者は、いろいろの講演会を開催している。共催などできないか私から尋ねてみる」。このような、積極的な提案が多く寄せられました。これも、1対1の対応だからこそ寄せられた助言のように感じました。この機会を得た、率直なご意見やご要望にお応えできる支部活動を目指してまいります。

参加した皆さまから、「今回の企画は、とても良い試み」とのお声をいただきました。できれば、今後も時期をみて、東北6県の各県単位での開催なども検討いたします。ご希望があれば、どうぞ、東北支部まで、お気軽にお問い合わせください。

(支部長 阿見孝雄)

(事前にお問い合わせを)

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、支部の催し物の開催が中止になる場合がございますので、事前に各支部にお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。なお、ご来場の際は、ご自宅での検温およびマスクの着用にご協力をお願いいたします。

北海道支部

☎ 0120-211-315 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp

「第14回 尊厳死協会の人生会議」

日程◎ 11月16日(火)午前10時～

会場◎ 札幌エルプラザ4階 大研修室B  
札幌市北区北8条西3丁目(JR札幌駅北口近く)

テーマ「未定(お問い合わせください)」

講師◎ 江端英隆(医師、支部顧問)

定員◎ 15人(無料、要申し込み、先着順)

申し込み、お問い合わせは岩崎(090-1386-2025)まで  
※新型コロナウイルスの感染状況により中止の場合は、申込者に直接ご連絡をします。

「第15回 尊厳死協会の人生会議」

日程◎ 2022年1月11日(火)午前10時～

会場◎ 札幌エルプラザ4階  
札幌市北区北8条西3丁目(JR札幌駅北口近く)

テーマ「未定(お問い合わせください)」

講師◎ 江端英隆(医師、支部顧問)

定員◎ 15人(無料、要申し込み、先着順)

申し込み、お問い合わせは岩崎(090-1386-2025)まで  
※新型コロナウイルスの感染状況により中止の場合は、申込者に直接ご連絡をします。

「ホームページ 動画セミナー」

テーマ「アメリカの『終身ケアを  
提供する退職者コミュニティー  
(CCRC)における終末期医療』」

講師◎ 宮本礼子(医師、支部長)

※日本の高齢者は、入院や介護が必要になると、病院や介護施設を転々としなければなりません。しかも望まない積極的医療や延命医療が行われます。

一方、アメリカに約1900か所あるCCRCでは、高齢者が老後の生活を楽しみながら、健康状態に応じた医療と介護を受け、そこで生涯を閉じます。終末期の医療は緩和ケアが中心で、積極的医療や延命医療は行われません。2015年に見学したCCRCについてお伝えします。



見学したCCRC「ヒルクレスト」のミーティングハウス

医療相談  
(通話無料)

0120-979-672

月・水・金曜日  
午後1時～5時  
(変更あり)

協会本部で、お電話お待ちしております。ご遠慮なく、どうぞ!

病気や気になる症状、特に終末期にかかわる不安や悩みについて、相談員(看護師)が丁寧にお聴きし、皆さま自身が主体的に考えて解決できるように支援しています。

医療相談は、協会が最も重視している会員向けの無料サービスですが、一般の方でもご利用いただけます。会員・未会員は確認させていただきます。お電話をお待ちしています。

協会宛メール(✉ [info@songenshi-kyokai.or.jp](mailto:info@songenshi-kyokai.or.jp))でも受けつけております。

東海北陸支部 活動報告

同じ場で語り合うことで想いを共有

当支部では、これまで年5回ほど講演会を開いてきましたが、昨年春以降、新型コロナウイルス感染が拡大しているなか、多人数を集めて催しを開くことは難しい状況です。このため、前号でご案内したように、東海北陸支部では「リビング・ウイル交流サロン」を各県で開催しています。岐阜での「サロン」は支部理事以外に▽妻と2人で入会し、妻は現在意思表出ができない男性介護者▽おひとりさまで、受容協力医を見つけない女性▽介護施設ケアマネジャーの女性▽ACP(人生会議)がなかなか身近な世の中になんていかなと感じている女性▽介護現場に勤務し、自分は自分の意思を貫いて生きていきたいと考えている女性——この5人の会員の方に参加いただき「どんな医療や介護を受けたいのか、どのように死を迎えたいのか」のご意見や、自分らしく生きていくことの難しさに対する不安や悩みを聞くことができました。

私からは、支部後援の学習会『緩和ケア学び隊』の7月の講演会で講師を務めていただいた加藤那津さん(42)の「私が中心で治療や介護を進めていく、必要なものが足りなければ作っていく」という想い、言葉を紹介させていただきました。加藤さんは31歳で発症した乳がんの療養中ですが、若くしてがんを経験した人や支える人が気軽に集える場「くまの間」を運営している方です。(同講演会は、支部HPの「WEB講演

「Cancer Journey がんと歩んできた11年(講師:加藤那津さん)」で視聴できます)

サロンという同じ場で顔を合わせて語り合うことで「自分らしい自己決定をするためには、ある程度の選択肢、正しい知識、そして覚悟があること」などが共有できたと思います。

(支部長 野嶋庸平)

『リビング・ウイル交流サロン』

各サロンとも、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、事前申し込みとさせていただきますので、支部事務局までご連絡ください。(☎052-481-6501)。

愛知◎ 10月26日(火)午後1時半～3時。  
青木記念ホール(名古屋市中村区、地下鉄東山線中村公園駅 徒歩5分) 定員10人。

静岡◎ 10月30日(土)午後1時半～3時半。  
静岡県男女共同参画センター あざれあ5階502会議室(静岡市、JR静岡駅 徒歩9分) 定員10人。

福井◎ 11月6日(土)午後2時半～4時半(受付午後2時～)。  
福井市地域交流プラザ研修室603(福井市、JR・えちぜん鉄道福井駅東口 徒歩1分) 定員20人。  
(内容)講演「ACPについて」(喜多正樹支部理事)及び参加者との交流・意見交換

zoom市民講演会

日程◎ 11月14日(日)14時～15時  
テーマ「救急医療情報キット(命の宝箱)とリビングウイル」

講師◎ 諫山憲司(明治国際医療大学 保健医療学部 救急救命学科教授、附属防災救急救助研究所 副所長、医学博士、救急救命士、社会福祉士)

内容◎ 諫山憲司さんから30分程度、上記テーマでお話をいただき、後半30分では長尾和宏(医師、協会副理事長)と関西支部理事を交えた質疑応答を行います。

参加費◎無料、先着100人まで  
お申し込み◎関西支部へメールで。返信メールでzoomのID、パスワードをお知らせします。

関東甲信越支部 活動報告

オンライン講演会 「最後まであなたらしく過ごすために」を開催

デルタ株が猛威を振るい感染者は急増。多くの方が自宅療養を余儀なくされ、搬送先もなく命を落とすニュースが飛び交い、第5波への危機感は大きくなるばかり。

このような現状の中、在宅医療にご尽力され、今まさに自宅療養中のコロナ患者さんにも対応している、鈴木央医師によるオンライン講演会が8月28日開催されました。鈴木医師は、お父様の代から地域医療に取り組みされている、いわば在宅医療の先駆者です。現在、大田区の鈴木内科医院院長であり全国在宅療養支援診療所連絡会副会長等々、在宅医療界での要職を務められています。定員80人を大きく上回り、125人の参加者が耳を傾けました。

今や、治す医療から支える医療への変革期であり、在宅医療では医師が様々な病気に対応し、在宅でも症状を和らげることが可能であること、多職種の方が関わりサポート体制が整えられていることなどが分かりました。

また、在宅医療の限界にも触れられ緩和ケア病院との連携も含めたものが在宅医療であることを教えていただき、在宅医療について詳しく知る機会となりました。鈴木医師のお話を聞くうちに、在宅医療が取り入れ難いものから、案外身近なものであるという、心境の変化に気付かれた方も少なくないと思います。人生は最後まで選択の連続です。もちろん病院で終末期を過ごすという考えも大切な選択の一つですが、本人やその家族のどんな思いや考えにも寄り添い、押しつけや否定をすることなく、寛容的な態度で丸ごと引き受けてくれるなら在宅医療に身を委ねようと思うに違いないでしょう。そう思わせてくれる医師の一人が鈴木医師であり、こういう在宅医が増えて欲しいと思える講演会となりました。最後に、医療に管理される患者さんの姿は無く、患者さんの日常に溶け込ませてしまう医療、それが在宅医療ではないかと気づかせていただきました。(佐々木美智子 看護師、支部理事)

サロンin本郷

「尊厳死」や「リビングウイル」について語り合しましょう。どなたでも参加できますが、支部まで電話またはメールでご予約をお願いします。参加は無料です。コロナ禍の影響で中止になることもありますので、事前のご確認をお願いします。

日程◎ 10月8日(金)、23日(土)  
11月12日(金)、27日(土)  
12月10日(金)、25日(土)  
1月14日(金)、29日(土)  
※いずれも午後1時半～3時

会場◎ 支部事務所 文京区本郷2-27-8  
太陽館ビル5階 日本尊厳死協会内  
地下鉄丸ノ内線・大江戸線  
「本郷三丁目」からすぐ

オンラインサロン

月に一回の頻度でパソコンやスマホで参加できる「オンラインサロン」を開催しています。日程は、ホームページでご確認ください。または支部までお電話でお問い合わせください。

オンライン講演会

日程◎ 1月30日(日)午後2時～4時  
テーマ「ACP(人生会議)と尊厳死について」

講師◎ 岡崎史子(医師、東京慈恵会医科大学教育センター/総合診療部 准教授、支部理事)

定員◎ 80人(無料、先着順)

形式◎ オンライン(ZOOM)での講演会です。

申込◎ メールで「1月30日講演会参加希望」と明記のうえ、お申し込みください。  
kantou@songenshi-kyokai.or.jp

※上記のイベントはすべて参加無料です。会員ではない方も参加できますので、お友達やお仲間にお声掛けください。ご参加をお待ちしております。

●住所を変更された場合はお知らせください

施設などに移って住所を変更される方が多くいらっしゃいます。会報や年会費の請求書などが戻ってきてしまいますので、住所を変更された場合は、すぐに協会に電話かFAX、メールでご連絡ください。3年間、年会費の支払いが滞りますと「自動退会」となってしまいますので、お気をつけくださいますようお願いいたします。

地域のみなさんへ

リビング・ウイル「出前講座」はいかがですか

- ご依頼により講師を派遣します
- 会場のご用意をお願いします
- お問い合わせは支部までどうぞ

四国支部・香川

香川は11月3日(水)文化の日に懇談会を開催します。

日程◎ 11月3日(水)午後1時半～3時半  
会場◎ サポートホール高松61会議室  
(〒760-0019 高松市サポート2-1  
高松シンボルタワー・ホール棟6F)  
☎087-825-5000

テーマ「独立型社会福祉士の看取り  
～もしバナゲーム体験～」

講師◎上田利枝(一般社団法人キラメキ  
社会福祉士事務所 代表理事)

対象者◎日本尊厳死協会四国支部・香川会員、  
一般市民の方  
※ZoomでのWeb配信も行います。

定員◎72人(会場) ソーシャルディスタンスのため  
少なくしています

お問い合わせは、四国支部・香川(〒760-0076  
高松市観光町538-2 あさひクリニック内)  
☎087-831-0280 FAX 087-831-0285、  
E-mail: info@asahi-cl.jp

※感染防止のため、できるだけ事前登録をお願いします。  
Web視聴(Zoom)をご希望の方はメールにてお  
問い合わせください。(香川代表 西口 潤)

四国支部・愛媛

愛媛もコロナ禍の中、十分な活動ができていません。こ  
のような状況下ですが、10月7日に講演会を計画してい  
ます。テーマは「死を前にした人あなたは何ができま  
すか?～ベストサポーターケアの本質～」です。

演者◎小澤竹俊  
(日本死の臨床研究会  
世話人・  
企画委員会委員、  
一般社団法人  
エンドオブライフ・  
ケア協会代表理事)



会場◎ 愛媛大学医学部教育講堂  
(40周年記念講堂)

日程◎ 10月7日(木)午後5時半～  
(Web(Zoom)) 配信有り  
Web参加ご希望の方は、  
事前にoncology@m.ehime-u.ac.jpまで  
メールでお問い合わせください

今後とも、愛媛県内の会員の希望に添った活動を行っ  
ていく予定です。(愛媛代表 薬師神芳洋)

「オンライン出前講座」のご案内

中国地方支部では、インターネット回線を利用した  
リモートでの出前講座に対応いたします。最大10人程  
度の小規模な開催となりますが、お仲間やサークル、  
団体などで、リビングウイユルや人生会議、自分や家族  
の人生の最終段階について、一緒に考えてみませんか?  
オンライン出前講座は、パソコンやスマホ等の情  
報端末とインターネットの利用が必要ですが、会場を  
ご用意いただく必要もなく、実施日時の調整も比較的  
容易な点も利点です。なによりコロナを気にすること  
なく話が出来ます。

オンライン出前講座の実施については、時間を40分  
くらい以内、オンライ会議ツールとして、Skype、  
Webx、Teams、Zoomの使用を想定しております。5～  
10人程度のお友達を集めて、中国地方支部までメール  
でご連絡ください。

LW受容協力医師の新規登録

9月に島根大学医学部附属病院呼吸器内科の天野  
芳宏医師に、LW受容協力医師として登録のお申し出  
をいただきました。中国地方支部では現在、240人の  
医師が受容協力医師として登録をされています。会員  
にとっては、LWについて話ができる、一緒に考えてく  
ださる医師が身近にいる、ということは最もありがた  
いことの一つです。

ご紹介やお申し出を、引き続きお待ちしております。

中国地方支部 活動報告

書籍2冊を紹介

「LWちゅうごく地方支部FAXだより」2021年8  
月10日号として、協会ホームページに掲載され  
ている書籍2冊を紹介させていただきました。

1冊目は「最後まで自分らしく生きるためのヒ  
ント」。関東甲信越支部副支部長で川口市で開業  
医として25年以上にわたり高齢者や地域医療に  
向き合ってきた杉浦敏之先生の書籍。2冊目  
は「こんなはずじゃなかった」。京都西陣をくま  
なく歩き、「わらじ医者」として独自の地域医療を切  
り開いた早川一光医師に関する書籍です。残念  
ながら、現在こちらの書籍は品切れ中です。

緊急事態宣言等への対応

新型コロナウイルス感染拡大抑制のため、広  
島県下に緊急事態宣言やまん延防止等重点措  
置が発令されている時点には、支部事務局に職員  
が不在となる場合があります。支部事務局への  
電話が繋がらない場合は、支部(全国共通)フ  
リーダイヤル0120-211-315、中国地方支部直通  
FAX:082-244-2048、または、上記メールアドレス  
にてお問い合わせ、ご連絡をお願いします。

出版案内 日本尊厳死協会がお勧めする必読の書。(書店では扱っていません)



人生の最期で迷わないために  
尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく  
説明しています。あなたの「？」に答えがあります。

- がんの末期 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す?
- 持続的植物状態 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら?
- 腎不全 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら?
- 救急医療 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは?
- 認知症 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は?
- 老衰 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か?

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。  
医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社

1100円(税・送料込)。書籍名、お名前、住所、会員の方は会員番号を明記。  
代金を現金書留または定額小為替が切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に。

「オンライン市民公開講座」

日程◎ 10月9日(土)午後2時～4時  
テーマ「支える側が支えられるとき  
～認知症の母の命を看取って～」

講師◎ 藤川幸之助(詩人、児童文学作家)

※講師の藤川幸之助さんは、小学校教師を経て、認  
知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を  
題材にした作品を作り続けています。その活動は  
「天声人語」や「NHKハート ネットTV」など多く  
のメディアで取り上げられています。認知症を患  
ってからの24年間の母の心の不安、忘却への恐  
怖、病気による混乱とそれを支えたご家族の心の  
葛藤を通して、認知症という病気や介護について、  
詩の朗読を交じえてお話しいただけます。

開催形式◎オンライン配信(無料、事前登録制)  
申し込みはこちらのQRコードから  
お願いします。



主催◎ 日本尊厳死協会・ながさき  
後援◎ 長崎県、長崎市、長崎県医師会、  
長崎市医師会他多数

連絡先◎白髭内科医院  
(〒850-0003長崎市片淵1-13-28)  
☎095-822-5620 FAX095-824-1626  
メールはyutaka@shirahige.org  
告知ホームページはhttps://songenshi-kyokai.  
or.jp/kyusyu/archives/271

電話やメールでの相談・回答についての具体的なケースを誌面で紹介していくページです  
基本的には相談員(看護師)がお答えしますが、顧問医のお力をお借りすることもあります。

## 電話・メール医療相談から

8

# 緩和ケアへの関心の高さを痛感

リビング・ウィル(終末期医療における事前指示書)の項目に、「私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください」と記されています。この緩和医療に対する関心は高く、多くの相談が寄せられています。今回は、相談内容の具体的な紹介とともに緩和ケアについてお伝えします。

### 【在宅での緩和ケアは?】

- がんの末期で貼り薬の効果がなく、舌下錠になったが副作用で吐き気が強く辛い。痛みと吐き気を抑えるためにモルヒネなどの使用はどうか。今後、在宅診療も考えているが、地域の受容医で緩和ケアを行っているところを教えてください。
- CTと腫瘍マーカーで肺がんと診断。膠原病で長年ステロイド剤などを服用しているため手術や放射線治療は難しいと言われていた。在宅で緩和医療を選択したいが可能か。
- 高齢の父は、すい臓がんの末期で在宅で緩和ケアを受けている。声をかけると頷いたり手を握り返す。辛い痛みもなく、苦しい時は酸素を付けたりしている。浮腫があるので点滴を外す予定。医師に「あと数日」と言われたが苦しみなく見送りたい。
- 脊柱管狭窄で半年前から鎮痛剤を服用しているが、痛みには耐えられない。モルヒネに頼るしかないと思うが主治医は否定的。ペインクリニック専門医を受診したい。
- うつ病を病んで長い、深夜などに耐えられない痛みで眠れず薬の量が増えている。家族はいたわってくれるが、これ以上迷惑はかけられない。緩和ケアで鎮静できないか。

### 【我慢しないで医師に相談を】

Q 緩和ケアは、どの段階から始めるとよいでしょうか。

A 厚生労働省は「がんと診断された時から治療と並行した緩和ケア」を推奨しています。病状の進行具合に関わらず早い段階で受けることをお勧めします。我慢する必要はありません。緩和ケアにより痛みが和らぎ、心身の安定を保つことは治療を継続する上で大切なことです。

Q がんの方だけが対象なのでしょうか。

A 緩和ケアは、がん患者を中心にやられてきましたが、

近年は、がん以外の疾患に対する緩和ケアも重要な医療と認識され、対象は、がんだけに限らなくなりました。強い痛みを伴う病気はたくさんあり、重い症状に苦しんでいる方々も受けることができます。緩和ケア科やペインクリニック科、痛みの専門外来などで相談できます。

Q 緩和ケアは入院して行うものですか。

A 治療を受けている病院の外来や「緩和ケア病棟」に入院する場合もありますが、在宅で訪問診療や訪問看護(在宅緩和ケア)など様々な職種の在宅チームで支えていただくこともできます。お一人暮らしの方も可能です。

Q 費用が高額になるのではないかと心配です。

A 入院と在宅のいずれを選択しても、医療費は健康保険などの公的医療保険制度でまかなえます。高額となる場合は高額療養費制度で負担が軽くなります。入院では差額ベッド代や食事、諸雑費などで費用にばらつきがあり高額になる場合があります。在宅チームで支えていただく場合は、介護保険も適用されますのでお勧めします。

Q 麻薬の依存性や副作用が心配ですが大丈夫でしょうか。

A 医療用麻薬が、医師のもとで治療目的に適切に使用された場合、依存症状が生じることはほとんどないと報告されています。眠気やぼーっとすることもあります。医師と相談しながらコントロールしていくとよいでしょう。痛みを緩和する薬は、麻薬の他にもたくさんあります。飲み薬や貼り薬、座薬、注射などがあり病状に合わせて調節されますので、遠慮しないで早めに相談しましょう。

### 【不快と感じるものはすべて痛み】

誰の目にも明らかな痛みだけではなく、本人が不快と感じるものはすべて『痛み』に含まれます。「本当に痛いの?おかしいな~、本当にそんなに痛いの?」そんな心ない言葉を繰り返されて、心身ともに辛く悲しい思いをしながら痛みを我慢しすぎて不眠や食欲不振に陥り、さらに不安感が募ってうつ状態になり、辛い思いで日常生活を送るようなことがあってはいけません。

治療法はいろいろあります。我慢しないで、早めに治療して痛みの連鎖を断ち切ることが大切です。

キ  
リ  
ト  
リ

それぞれの思いを伝えるメッセージ。会員様が保管する文書です

## 私の希望表明書

私は、協会発行の「リビング・ウィル(終末期医療における事前指示書)」で、延命措置を受けたくないという意思をすでに表明しています。それに加えて、人生の最終段階を迎えた時に備え、私の思いや具体的な医療に対する要望をこの文書にしました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 本人署名 \_\_\_\_\_

希望する項目にチェックを入れました。

1. 最期を過ごしたい場所(一つだけ印をつけてください)

- 自宅 病院 介護施設 分からない  
その他( \_\_\_\_\_ )

2. 私が大切にしたいこと(複数に印をつけても構いません)

- できる限り自立した生活をする 大切な人との時間を十分に持つこと  
弱った姿を他人に見せたくない 食事や排泄が自力でできること  
静かな環境で過ごすこと 回復の可能性があるならばあらゆる措置を受けたい  
その他( \_\_\_\_\_ )

※以下「3」と「4」は、「ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りします」という表現では伝えきれない希望や、「止めてほしい延命措置」の具体的な中身を明確にするためのものです。

3. 自分で食べることができなくなり、医師より回復不能と判断された時の栄養手段で希望すること(複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。)

- 経鼻チューブ栄養 中心静脈栄養 胃ろう 点滴による水分補給  
口から入るものを食べる分だけ食べさせてもらう

4. 医師が回復不能と判断した時、私がして欲しくないこと(複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。)

- 心肺蘇生 人工呼吸器 気管切開 人工透析 酸素吸入  
輸血 昇圧剤や強心剤 抗生物質 抗がん剤 点滴

5. その他の希望

### 【用語の説明】

- **心肺蘇生**: 心臓マッサージ、気管挿管(口や鼻から気管に管を入れる)、電氣的除細動、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与などの医療行為。
- **人工呼吸器**: 自力で十分な呼吸ができない状態の時に、肺に機械ポンプで空気や酸素を送り込む機器。マスク装着のみで行う場合もあるが、重症の際はチューブを口や鼻から入れる気管挿管を行う。1~2週間以上続ける場合は、のどに穴を開ける気管切開(喉仏の下から直接気管に管を入れる)をしてチューブを入れる。
- **胃ろうによる栄養補給**: 内視鏡を使い、局所麻酔で胃に管を通す手術を行う。その管を通して栄養を胃に直接注入すること。

## ご寄付ありがとうございました (敬称略)

ご寄付いただきまして誠にありがとうございました。対象期間は、令和3年6月1日から令和3年8月31日までにご寄付いただいた方々です。職員一同深く感謝します。普及啓発事業等に有効に活用させていただきます。

金城裕子	2,500	今井啓子	3,000	金澤健藏	5,000	匿名・東京都	20,000
佐藤公子	10,000	三原正治	2,000	海老原 正・ヒロ子	10,000	匿名・東京都	20,000
上田紀生	30,000	遠藤弘江	20,000	永山昭一	20,000	匿名・東京都	11,151
小山真理子	10,000	神 昌子	10,000	香田田鶴子	1,000	匿名・埼玉県	1,000
斉藤玖仁子	20,000	加賀文男	1,000	佐藤希志雄	100,000	匿名・埼玉県	5,000,000
兵間喜久江	1,680	岸川洋子	5,000	木内豊秋	5,000,000	匿名・埼玉県	20,000
山岡尚子	20,000	下村正明・久良子	2,000	太田弘子	100,000	匿名・千葉県	10,000
小久保原道	90,174	中村敦雄・悦子	30,000	大槻正江	3,000	匿名・千葉県	2,000
江越まり子	11,000	山中千鶴子	10,000	濱原法子	10,000	匿名・千葉県	20,000
笹井敏子	2,270	鈴木富子	10,000	福居八重子	28,830	匿名・神奈川県	8,000
中山 孝	5,000	藤田浩子	2,570	中村守夫	2,000	匿名・神奈川県	1,980
稲富麻里	10,000	代田繁夫	10,000	加瀬雅子	2,000	匿名・愛知県	10,000
園田祥三・桂子	10,000	成田幸穂	8,400	安藤浩行	25,000	匿名・兵庫県	2,000
橋場 昭	3,000	田川隆夫	3,000	早川美代子	25,000	匿名・兵庫県	116,850
井上初子	20,000	西川 明	8,000	馬屋原正夫	10,000	匿名・福岡県	6,000
梶原壽恵子	10,000	西窪 猛	11,076	二村優子	10,000	匿名・福岡県	100,000
松鹿 清	10,000	市原節子	5,000	糸岐茂徳・モト子	10,000	匿名・福岡県	5,000
橋本弘之	6,000	芋川 宏	3,000	大類由美子	8,175	匿名・福岡県	10,000
平澤鉄美	10,000	白井 宏・育子	2,000	江本愛子	300,000	匿名・沖縄県	100,000
宮崎愛子	20,000	三谷孝子	10,000	竹内健一	10,000	匿名・住所なし	10,000
二宮直子	10,000	佐藤栄治	1,000	匿名・北海道	5,000	東海北陸支部扱い	
安部昭次・ナホミ	2,000	大津サナミ	10,000	匿名・北海道	38,280	匿名・愛知県	200,000
田口順造	100,000	矢野武盛	1,000,000	匿名・東京都	5,000		
茶幡昌子	100,000	橋本正身	50,000	匿名・東京都	10,000		
鍋木チエ子	3,000	広川ミエ	30,000	匿名・東京都	3,000		

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用下さい。切手でのご寄付もお受けいたします。いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であること、また、「匿名」希望の場合は、「匿名希望」とお書き添え下さい。三菱UFJ銀行神田支店「普通口座0048666」も寄付口座として新設しましたので、併せてご利用下さい。「匿名」希望の場合は、依頼人名欄に「匿名希望」とご入力下さい。

## 多額の寄付が寄せられました

木内豊秋さん(72)から500万円、矢野武盛さん(89)から100万円、匿名の女性(75)から500万円という多額のご寄付をいただきました。木内さんは長年、不動産会社を経営し、現在はご子息に譲られています。「尊厳死協会が世間に知られていないことが歯がゆい。広報に役立ててほしい」とのことです。今号の「LWのひろば」にも投稿されています。

矢野さんはご夫婦で入会されています。矢野三栄子さんは前号の倉本さんの「そしてコースは死んだ」に胸が詰まったとのこと。「尊厳死協会の理念を世間や政界にもアピールしてほしい。そのために使ってほしい」とのことでした。

あらためてお礼を申し上げます。

## LWの受容協力医師

第105報

2021年6月～8月の間に新しく登録なされた医師の方々です。

内:内科 循:循環器科 呼:呼吸器科 消:消化器科 呼内:呼吸器内科 消内:消化器内科 外:外科 整:整形外科 小:小児科 放:放射線科  
リハ:リハビリテーション科 皮:皮膚科 肛:肛門科 泌:泌尿器科 心内:心療内科 脳外:脳神経外科 緩和:緩和ケア科

[会員医師は☑とする]

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
富良野協会病院	循内	名取 俊介	北海道富良野市住吉町1-30	0167-23-2181
よこはま あおとクリニック	訪問・内	西山 葉子	神奈川県横浜市緑区青砥町879-2	045-482-7567
千葉健生病院	訪問・内	角田 純一	千葉県千葉市花見川区幕張町5-392-4	043-272-1211
さいたま赤十字病院	循内	狩野 実希	埼玉県さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111

【お詫びと訂正】 前号(182号)24ページの「LWの受容協力医師」のリストにある諏訪赤十字病院の「人宗遼」とあるのは「久宗遼」さんの誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

### 【受容協力医師についてのご案内】

全国に2,000人ほど登録しているLW受容協力医師のお名前は、協会各支部のホームページ(HP)で閲覧することができます。各支部HPへのアクセスは本部のHPからのリンクをご利用ください。**会員専用認証パスワードは「jsdd(半角小文字)」です。**紙に印刷した受容協力医師リストをご希望の方は、各支部にご連絡ください。ファクスか郵送でお送りいたします。

### ● LW受容協力医師をご推薦ください

会員のみなさまの不安として、周辺に受容協力医師がないことがあるかと思えます。そうした不安を少しでも和らげるため、本部では、みなさまのかけつけ医師をご紹介いただければ、その医師に「LW受容協力医師の登録」をお願いします。

会員の方の①お名前、②会員番号、③お電話番号、④かけつけ医師のお名前(病院名)・住所・お電話番号を、本部「受容協力医師担当」まで、電話、ハガキ、手紙、FAXまたはメールでお知らせください。

### ご支援のお願い

1976年に設立された日本尊厳死協会は2020年4月、一般財団法人から公益財団法人に生まれ変わり、新しい時代を迎えました。これからも「尊厳ある死」の社会実現のためにさらなる活動を続けてまいります。会員のみなさまの年会費(2000円)で全ての活動費を賄うことは難しいのが現状です。さらにきめ細かな、会員のみなさまに寄り添った活動をおこなうためにも、ご寄付をお願いできればと思います。ご協力をお待ちいたしております。

公益財団法人への寄付金と会費は、特定公益増進法人への寄付金として、税制上の優遇措置があります。なお多額のご寄付をいただいた個人、法人には紺綬褒章の制度もあります。詳しくは協会のHP(<https://www.songenshi-kyokai.or.jp/>)をご覧ください。お電話でもお問い合わせください。



日本尊厳死協会の出版案内

## 最期の望みをかなえる リビングウイルノート

好評  
発売中!

私の望む「痛くない死に方」がここにあります。

発行:ブクマン社 定価:1100円(税別) A4判104ページ

## ●本部

〒113-0033  
東京都文京区本郷2-27-8  
太陽館ビル501  
TEL 03-3818-6563  
FAX 03-3818-6562  
メール  
info@songenshi-kyokai.or.jp  
ホームページ  
https://www.songenshi-kyokai.or.jp/  
郵便振替口座  
東京00130-6-16468

## ●北海道支部

事務所は5月末日で閉鎖となりました。  
今後のお問い合わせは本部まで。  
フリーダイヤル 0120-211-315

## ●東北支部

〒980-0811  
仙台市青葉区一番町1-12-39  
旭開発第2ビル703号室  
TEL 022-217-0081  
FAX 022-217-0082

## ●関東甲信越支部

〒113-0033  
東京都文京区本郷2-27-8  
太陽館ビル501  
TEL 03-5689-2100  
FAX 03-5689-2141

## ●東海北陸支部

〒453-0832  
名古屋市中村区乾出町2-7  
正和ビル2階  
なかむら公園前法律事務所内  
TEL 052-481-6501  
FAX 052-486-7389

## ●関西支部

〒532-0003  
大阪市淀川区宮原4-1-46  
新大阪北ビル702号  
TEL 06-4866-6365  
FAX 06-4866-6375

## ●中国地方支部

〒730-0024  
広島市中区西平塚町2-10  
TEL 082-244-2039  
FAX 082-244-2048

## ●四国支部

〒760-0076  
高松市観光町538-2  
あさひクリニック内  
TEL 087-833-6356  
FAX 087-833-6357

## ●九州支部

事務所は3月末日で閉鎖となりました。  
今後のお問い合わせは本部まで。  
フリーダイヤル 0120-211-315

各支部HPへのアクセスは  
本部HPからのリンクをご利用ください。

# リビング・ウイル Living Will

(終末期医療における事前指示書)  
(2017年7月改訂)

この指示書は、私の精神が健全な状態にある時に  
私自身の考えで書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私  
自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成  
しない限り有効であります。

□ 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であ  
り、既に死が迫っていると診断された場合に  
は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延  
命措置はお断りいたします。

□ ただしこの場合、私の苦痛を和らげるため  
には、麻薬などの適切な使用により十分な緩和  
医療を行ってください。

□ 私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物  
状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめ  
てください。

以上、私の要望を忠実に果たして下さった方々  
に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要  
望に従って下さった行為一切の責任は私自身にあ  
ることを付記いたします。

## リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ  
りが近づいたら延命措置を望ま  
ないで、自然の摂理にゆだねて  
寿命を迎えるご自分の意思を表  
した「リビング・ウイル」を発  
行、その普及に努めています。

現在約10万人の方々が「リビ  
ング・ウイル」を持ち、安心し  
た日々を送っています。自然の  
まま寿命を迎えることは、最期  
の日々をよりよく生きること  
であり、今を健やかに生きるこ  
とにつながります。

お友だちやお知り合いに協会  
や「リビング・ウイル」のことを  
お伝えいただければと願ってい  
ます。

## 事務局から

# 会費の自動払込のご案内 希望者はご連絡ください

年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から自動  
引き落とし)があります。利用には諸手続きが必要ですので、  
ご希望の方は本部事務局までご連絡をお願いします。次の要  
領で実施しております。なお郵便局窓口では申し込めません。

- 対 象 ▶ ご希望の会員
- 払 込 日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日  
祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
- 払 込 額 ▶ 会費相当額
- 手 数 料 ▶ 1回の払込に165円(150円+税)の  
ご負担があります
- 取 扱 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、  
金融機関 ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領 収 書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印  
字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可  
能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の  
納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷して  
あります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も  
記入して下さい。なお振込手数料は郵便局窓口が203円、  
郵便局ATMが152円、コンビニが110円です。



「秋、輝く」  
今号の1枚

●「カアチャン」という響きが、  
何とも心地よい「巻頭インタビ  
ュー」でした。男は20代にもな  
ると「おふくろ」とか「母親」と  
か言うようになるものですが、  
そうでないのは、「素の自分」に  
自信と誇りがあるからなのでしょう。  
よう。お笑いタレントや司会と  
して活躍するロンドンブーツの  
田村淳さんは、20歳の頃から、  
看護師だった「母ちゃん」に「延  
命治療はせんでいいからね」と  
毎年、言われてきたそうです。  
それから20数年、母ちゃんがが  
んで倒れ、この「延命治療はせ  
ん」という本人の希望と「事態」  
に、父親と弟の男3人で向き合  
います。母ちゃんは迫りくる死  
を前に何をしたか、男3人はど  
う支えたか。著書「母ちゃん  
のフラフラ」はこのインタビュー  
1は、その詳細な記録であり、  
看取った1年後の思い出です。  
ちなみに私は、20代の頃には  
すでに「おふくろ」とか「おふくろ  
さん」とか言っていたようにも。  
「素の自分」に自信がなかったと  
いうことなのでしょう。(那司)

※表紙の下方にQRコードを付けたので、ご利用下さい。

# Living Will 目次

— 会報2021年10月 No.183 —

- 02 巻頭インタビュー  
ロンドンブーツの田村 淳さん
  - 08 第10回日本LW研究会の案内
  - 09 LW改定委員会の経過報告
  - 10 LWのひろば
  - 12 LWのひろば(倉本さん提言に想う)
  - 14 連載「四季の歌」里の秋
  - 16 支部活動・報告  
2021 秋～冬
  - 22 私の希望表明書
  - 23 連載・電話・メール医療相談から
  - 24 LW受容協力医師のリスト
  - 25 寄付された方々
  - 26 事務局から／編集後記／目次
  - 27 終末期医療における事前指示書／  
本部・支部一覧
- 裏表紙 出版案内

協会会員：9万8280人  
(2021年9月7日現在)

次号は、  
2022年1月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。  
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

## 編集後記

出版案内

日本尊厳死協会がお勧めする必読の書

病院ではなく在宅医療を選択する人が増加!

週刊朝日ムック

さいごまで自宅で診てくれる  
いいお医者さん

2022年版

コロナで注目!

# 在宅医療ガイド

10月14日発売予定 定価1100円(税込) B5判・172ページ

- 吉永小百合主演 在宅医療を描いた映画「いのちの停車場」舞台裏
- トップ対談 東京都医師会・尾崎治夫会長×長尾和宏医師
- 上野千鶴子さんが語る「おひとりさま在宅死」
- コロナ禍に在宅医療を受けるメリットとは?
- 時系列で紹介 自宅で暮らす在宅医療の生活レポート
- 在宅医療を始める前の基礎知識／かかるお金



日本尊厳死協会副理事長  
長尾和宏 医師



※表紙は一部変更になる可能性があります  
※日本尊厳死協会では扱っておりません

在宅看取り件数がわかる

ここでしか読めない!

全国リスト 約1500診療所

診療所名	所在地	電話番号	24時間	在宅医療	緩和ケア	在宅看取り	在宅療養	在宅ケア	在宅ケア	在宅ケア	在宅ケア	在宅ケア
<b>北海道</b>												
朝日在宅クリニック	札幌市中央区南1-2-3	011-223-4567	○	○	513	66	65					
あさひ診療所	札幌市中央区南4-5-66	011-456-7890	○	○								
浜離宮ケアクリニック	札幌市中央区南7-8-9	011-987-6543	○	○	768	127	125					
朝日在宅医療クリニック	札幌市中央区南1-2	011-XXX-1234	○	○	271	133	129	4	193	1		
築地市場診療所	札幌市中央区南3-4-55	011-XXX-5678	○	○								
在宅医療クリニック	札幌市東区南11-22-33	011-XXX-9012	○	○	-	20	4	16	91	2		
△△診療所	札幌市東区南400-5	011-123-XXXX	○	○	1062	85	16	69	109	6		
●●ファミリークリニック	札幌市東区北1-1-2-5	011-456-XXXX	○	○								
■□□	札幌市東区南1-5-2	011-789-XXXX	○	○								

このリストから「いい在宅医」が見つかる!

お求めは  
お近くの書店、  
ASA(朝日新聞販売所)へ  
お申し込みください。

朝日新聞出版ホームページ、またはお電話でも受け付けております。  
TEL03-5540-7793(直販担当、平日10~18時)

朝日新聞出版より直送の場合、下記送料がかかります。

●代金引換払い

(お電話での注文の場合)

・ご注文金額が2,500円(税込)以上の場合、送料300円(税込) / 1回

・ご注文金額が2,500円(税込)未満の場合、送料800円(税込) / 1回